SONY

3-214-745-06(1)

基本的な使いかた
録画する
再生する
消去する
テレビを見る
BRAVIAのリモコンを使った便利機能
さまざまな設定をする
困ったときは
その他

デジタルハイビジョンチューナー内蔵HDDレコーダー

取扱説明書＜操作編＞

BRX-A250

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

はじめにお読みください · · · 5
BRAVIA Link対応のソニー製テレビに本機を接続して利用するときは · · · 5
本機の電源の「入」「切」について · · · 5

基本的な使いかた

基本的な使いかた · · · 6

録画する

使用する前にお読みください · · · 12
制約事項･注意事項について · · · 12
テレビとの連携動作に関するご注意
（連携動作ができるテレビをお持ちの場合） · · · 12
おすすめ番組表から番組を選んで録画する · · · 13
番組表から番組を探して録画する · · · 16
日時指定で番組を探して録画する · · · 18
2番組同時に録画する · · · 20 2番組同時録画
予約を確認する･変更する･取り消す · · · 21 予約リスト
前回録画した番組を消去して録画する · · · 21 更新録画
放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する · · · 22 番組追跡録画

再生する

録画した番組を再生する · · · 24
録画した番組をゆっくり再生する · · · 25
録画中の番組を最初から見る · · · 25 追いかけ再生
録画しながら他の番組を再生する · · · 26 同時録画再生

消去する

録画した番組を消去する · · · 27
誤って消さないようにする · · · 28

テレビを見る

テレビ放送を見る · · · 29
音声や字幕を切り換える · · · 29
視聴年齢制限つき番組を見る · · · 29

BRAVIAのリモコンを使った便利機能

BRAVIAのリモコンで本機を操作する · · · 30
今見ている番組を録画する · · · 31 見て録
今見ている番組の放送を一時的に停止する · · · 32 リプレイ

さまざまな設定をする

本機の設定を変更する …… 33
お知らせ …… 34
アンテナ設定 …… 34
録画設定 …… 35
本体設定 …… 36
その他 …… 37
かんたん設定 …… 37
リモコンモードを変更する …… 38

困ったときは

故障かな？と思ったら …… 39
まず確認してください …… 39
こんな場合は故障ではありません …… 39
画像 …… 40
番組表 …… 40
録画・予約 …… 40
再生 …… 41
音声 …… 41
リモコン …… 42
その他 …… 42
エラーメッセージ …… 42

その他

保証書とアフターサービス …… 44
主な仕様 …… 45
ダウンロードの流れについて …… 46
使用上のご注意 …… 46
HDMIコントロール（機器制御）について …… 48
デジタル放送お問い合わせ先一覧 …… 49
マルチリモコンについて …… 50
各部の名前 …… 51
リモコンのボタン …… 51
接続端子 …… 54

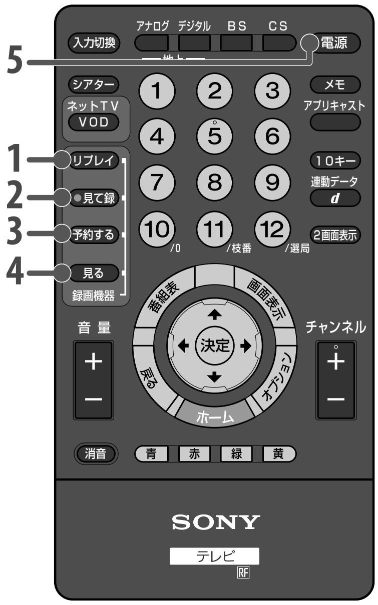
はじめにお読みください

本機の取扱説明書は＜準備編＞と＜操作編＞（本書）の2冊に分かれています。本機を初めてお使いになるときは、＜準備編＞をご覧になり、本機を利用するための準備を行ってください。

BRAVIA Link対応のソニー製テレビに本機を接続して利用するときは

本機とBRAVIA Linkに対応しているソニー製テレビを接続すると、BRAVIAのリモコンを使って本機を簡単に操作できます。BRAVIAのリモコンで本機を操作するには、BRAVIAのリモコンを利用するための設定が必要です。取扱説明書＜準備編＞の「［手順12］リモコンを利用するための設定をする」をご覧になり、BRAVIAのリモコンの設定を行ってください。

ソニー製テレビ（BRAVIA）に付属のリモコンでできること

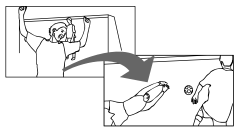


対象機種：
KDL-70X7000/KDL-52X5000/
KDL-46X5000/KDL-40X5000/
KDL-52X5050/KDL-46X5050/
KDL-40X5050/KDL-52V5000/
KDL-46V5000/KDL-40V5000/
KDL-52W5000/KDL-46W5000/
KDL-40W5000



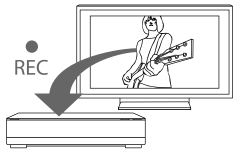
対象機種：
KDL-46V3000/KDL-40V3000

1 リプレイ



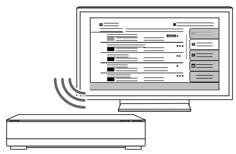
見逃した場面をもう一度再生。

2 見て録



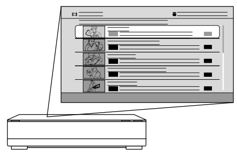
テレビを見ているときに押すと、見ている番組を録画機器で録画。

3 予約する



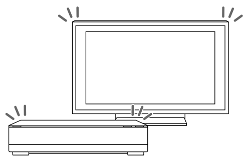
録画機器の録画予約画面を表示。スムーズに予約設定を開始。

4 見る



録画機器の録画リストを表示。番組を選べば再生開始。

5 電源



テレビの電源を切ると、つないだ機器も連動して電源が切れる。

本機の電源の「入」「切」について

接続しているテレビの種類により本機の電源の「入」「切」の方法が異なります。
詳しくは取扱説明書＜準備編＞の「本機の電源の「入」「切」について」をご覧ください。

基本的な使いかた

BRAVIA LinkまたはHDMIコントロール（機器制御）に非対応のテレビに接続してご利用になる場合は、テレビの入力を本機が接続されているHDMI入力に切り換えてください。

録画した番組の再生

見る を押す



再生したい番組を選び、決定 を押す

録画番組リスト



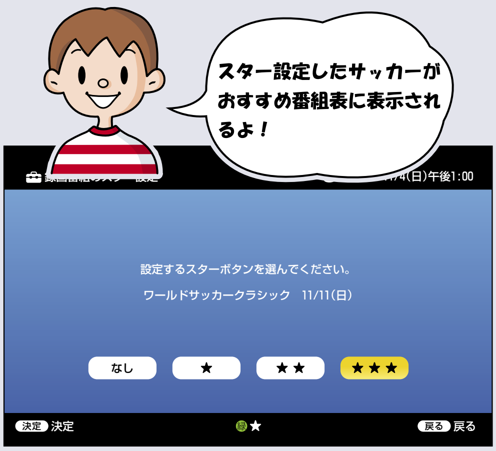
- 録画番組リストの番組は録画順に並んでいます。
- リストのページ戻し、ページ送りは 青 、赤 ボタンでできます。

録画番組リストの便利な機能

スター設定

録画番組リストで 緑 ボタンを押すと番組の評価ができます。

番組の評価内容によっておすすめ番組表で表示される番組が変わってきます。



プロテクト（消去防止）

録画番組リストで 黄 ボタンを押すと番組の消去防止／保護解除ができます。

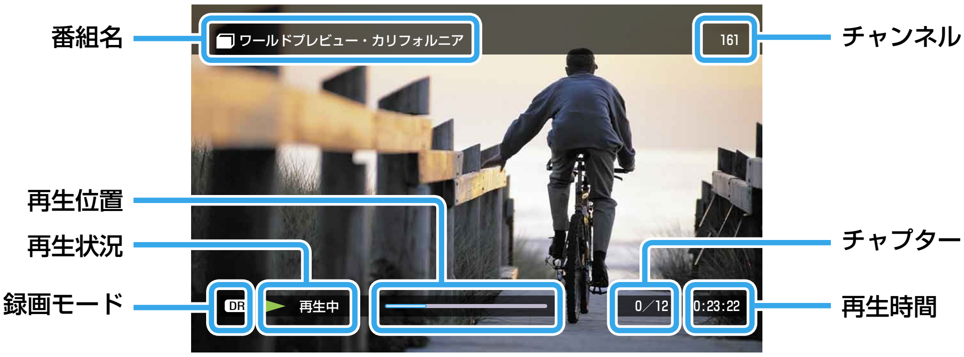
見終わった番組の消去

録画番組リストでオプションを押して番組消去を選ぶと、番組を消すことができます。

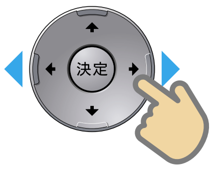




再生中のいろいろな操作



早送り、早戻ししたいときは



➡ボタンで早送り
⬅ボタンで早戻し

一時停止したいときは



再生中に（決定）で一時停止
もう一度（決定）で再生

停止したいときは



再生中に（決定）で停止
［見る］を押すと録画番組リストに戻ります。

BRAVIA LinkまたはHDMIコントロール(機器制御)に非対応のテレビに接続してご利用になる場合は、テレビの入力を本機が接続されているHDMI入力に切り換えてください。

番組表を使って録画予約する

本機では、おすすめ番組表、番組表、日時指定予約の3つの方法で、番組を録画予約することができます。

録画したい番組の種類にあわせて、録画予約する番組表を使い分けてください。

ご注意

本機の接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表データを受信するまでは番組表に番組は表示されません。番組表データの受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信までに1日程度かかることもあります。

予約する を押す



おすすめ番組表

よく見る番組やスター設定した番組を自動的に一覧表示します。



こんなときに便利な番組表です！

- 放送中の番組を録画したいとき
- もうすぐ始まる番組を録画したいとき
- よく見る番組を録画したいとき

番組表

各放送局で放送されている番組を、時間ごとに一覧で確認することができます。



前日は 緑 、翌日は 黄 で表示できます。

各放送の番組表は、番組表の入り口ボタンを押して、表示します。

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

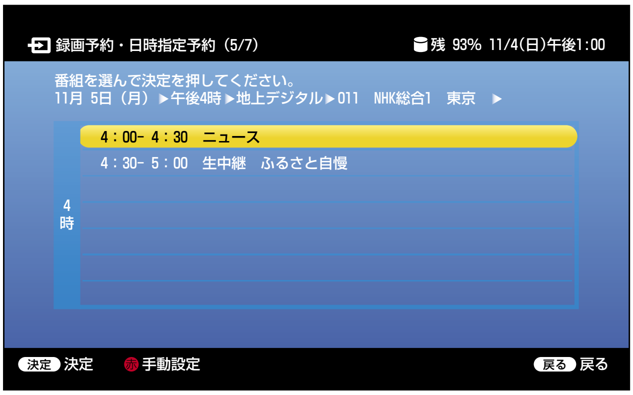
番組の選択方法を選ぶ。



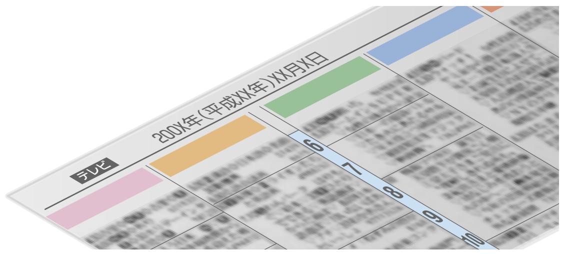
日時指定予約

放送される日付や時間があらかじめわかっている番組を録画するときに、日時指定予約を使います。新聞や雑誌で見つけた番組を録画したいときに便利です。





日にち、時間、放送、チャンネルをガイドにしたがって入力すると、該当する番組が一覧(右図)で表示されます。一覧から番組を選ぶだけで、録画の予約ができます



BRAVIA Link対応のソニー製テレビに接続したときに利用できる機能の説明です。
詳しくは30 ～ 32ページをご覧ください。

覚えておくと便利な操作　Q&A

Q1　すぐに録画したいときは？　見て録

A　[●見て録] ボタンを押す。

見ているチャンネルをすぐに録画できます。

- 録画時間は２時間です。
- ２時間以内に録画を停止したいときは［見て録停止］ボタンを押してください。

Q2　番組をすぐに録画したいときは？

A　[予約する] ボタンを押し、おすすめ番組表を開く。

おすすめ番組表の最初に見ていたチャンネルの番組が表示されます。
↑↓で選択して、(決定)で録画予約してください。
番組が終わると録画も停止します。

Q3　数秒前に戻って場面を見たいときは？　リプレイ

A　[リプレイ] ボタンを押す。

Q4　テレビに戻るには？

A　チャンネルボタン（①～⑫）を押す、または見ていた放送のボタン（[デジタル] / [BS] / [CS]）を押す。

Q5　リモコンが効かなくなったときは？

A　[予約する] / [見る] を押す。

上記の操作をしてもリモコンが効かないときは、「故障かな？と思ったら」を参照してください。



BRAVIA LinkまたはHDMIコントロール（機器制御）非対応のテレビに接続しているときの基本的な使いかた

1 本機のリモコンの電源 で本機の電源を入れる。

2 テレビの入力を、本機が接続されているHDMI入力に切り換える。

3 録画した番組を再生するときは「見る」、録画予約するときは「予約する」を押す。

使用する前にお読みください

制約事項・注意事項について

- 録画モードに関わらず、1つの番組の連続録画最長時間は、約8時間です。
- 本機に録画できる最大番組数は300番組です。ハードディスクの残量がなくなると最大数まで録画できません。
- 本機では、DRモードで録画したときのみ二か国語放送の両音声（主・副）で記録できます。
- 本機では電源の入／切にかかわらず、録画予約した録画開始時刻になると録画が始まります。また録画中に電源を入／切しても、録画に影響はありません。
- 「見て録」「リプレイ」ボタンで録画を開始しても、すぐに録画が始まらないことがあります。
- 録画可能時間は目安としてご覧ください。実際の録画可能時間は、放送や映像により異なります。
- 停電があった場合は録画されません。自己メールを確認してください。
- 番組連動データは録画されません。
- 地上デジタルのデータ放送や、BS/110度CSデジタルのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- 休止中のチャンネルは番組表に表示されません。
- CATV独自の番組は番組表に表示されません。
- CATVのVHF/UHF放送の番組は表示できない場合があります。ご利用のCATV局にお問い合わせください。
- デジタル放送の予約では、番組放送時間が変更になった場合でも時間変更に対応して録画することができますが、放送の状況によっては時間変更の検出が遅れることがあります。このとき、番組の先頭が録画されていない場合があります。
- テレビ番組を見ているときに、録画予約で設定した録画番組が開始されると、録画リストに切り換わることがあります。
- データ放送は視聴できません。
- 双方向サービスはご利用になれません。
- 人の声と音楽が入っている録画番組をゆっくり再生する場合、聞き取りにくい場合があります。
- [録画1]ではDR以外の録画モードで録画した番組は、字幕表示できません。[録画2]で録画した番組は字幕表示できます。
- 本機からのHDMI出力信号は、テレビに入力して視聴する以外の用途には対応しておりません。

テレビとの連携動作に関するご注意（連携動作ができるテレビをお持ちの場合）

- お買い上げ時や、新しいテレビと接続された時には、テレビとの連携動作ができない状態となっている場合があります。テレビの電源が入っている状態で、本機の電源ボタンを押し、手動で電源を入れていただくことで、連携動作が可能な状態になります。

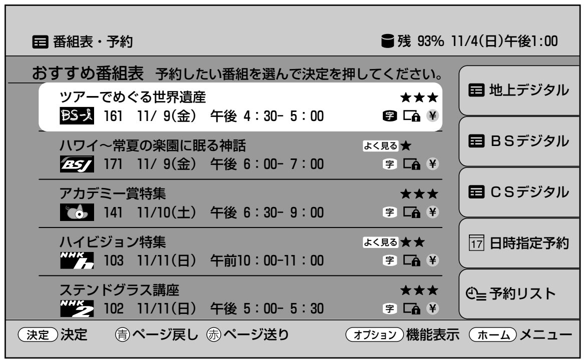
おすすめ番組表から番組を選んで録画する



テレビの視聴履歴や本機の録画履歴をもとに、本機がおすすめする番組を一覧で表示します。また、スター設定したジャンルの番組を自動的に検索して、おすすめ番組表に表示します（24ページ）。このリストから録画したい番組を選び、録画できます。

1 予約する（予約する）を押す。

2 ↑↓で録画したい番組を選び、決定を押す。

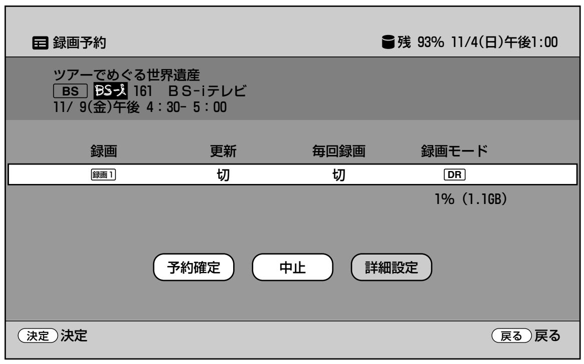


3 ←→で［録画予約］を選び、決定を押す。



4 ↑↓←→で［予約確定］を選び、決定を押す。

予約設定内容を変更したいときは「予約設定内容を変更するには」（次ページ）をご覧ください。



次のページにつづく⇨

おすすめ番組表から番組を選んで録画する（つづき）

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。

予約した番組は、番組表に⏻が表示されます。

同じ時間帯に予約が重複している場合は、確認画面が表示されます。

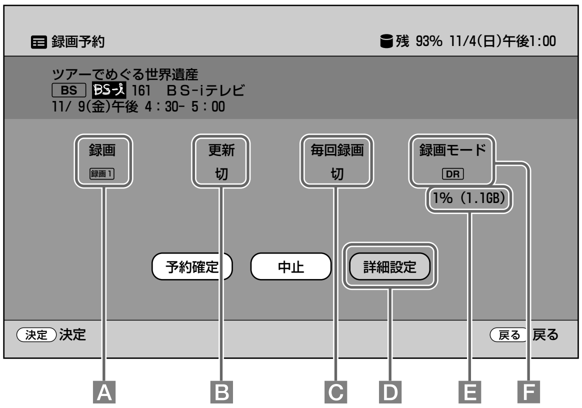
ご注意

予約可能な番組数は、最大40件です。また、録画リストに表示される番組数は、最大300件です。

予約設定内容を変更するには

予約設定内容を変更したいときは、手順**4**の画面で設定を変更することができます。

録画予約画面



A **録画**
［録画1］か［録画2］どちらかを選びます。

B **更新**
［入］に設定すると毎回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します。毎回録画で［入］を選んでいるときのみ設定できます。

C **毎回録画**
毎日放送される番組などを毎回録画します（毎日、月-土など）。毎回録画は設定した日の番組から実行されます。

D **詳細設定**
記録する映像と音声の信号が複数有る場合、どの信号を記録するか選択できます。
録画モードでDR以外を選んでいるときのみ設定できます。

E **使用HDD領域（使用データサイズ）**
HDDの使用領域とデータサイズを表示します。

F **録画モード**
［録画1］、［録画2］の録画モードが表示されます。［録画1］は4種類の録画モードから選択できます。DRLモードは、動きの激しい映像を録画するときに画像が乱れることがあります。

［録画1］で選べる録画モード

録画モード	画質	録画可能時間（目安）
DR	デジタルハイビジョン画質	約28時間[*1]
DRS	↕	約55時間[*1]
DRL		約70時間[*1]
LP	長時間録画	約190時間

［録画2］で選べる録画モード

録画モード	画質	録画可能時間（目安）
DR[*2]	デジタルハイビジョン画質	約28時間[*1]

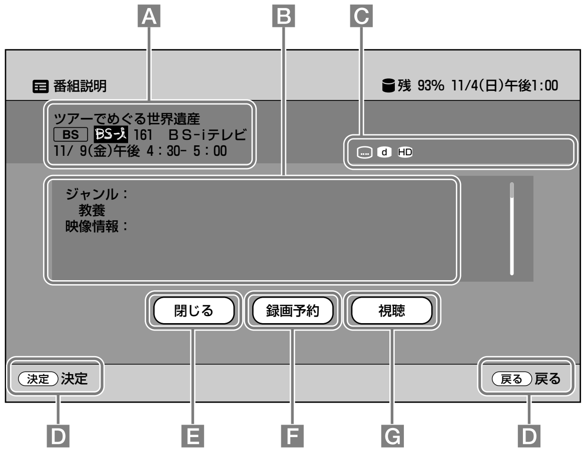
*1　HD画質で録画する場合

*2　［録画2］の録画モードは常に［DR］に設定されており、変更することはできません。

ご注意

動画の動きによって録画時間が変わります。

番組説明画面の見かた



A **番組・放送局名・放送時間**

B **番組の情報**
出演者や、映像情報、音声情報、ジャンル、データ情報などの番組の詳しい内容が表示されます。⇧⇩で情報をスクロールすることができます。

C **マーク**
放送サービスの種類などがマークで表示されます。

マークの意味

- 字　：字幕放送
- d　：テレビやラジオと連動しているデータ放送
- HD　：デジタルハイビジョン信号HD
- 年齢表示　：視聴年齢制限付き番組

D **操作ガイド**
番組説明画面で行う操作に使うボタンを表示します。

E **［閉じる］**
詳細画面を終了し、元の番組表に戻ります。

F **［録画予約／予約修正］**
予約設定画面を表示します。既に予約しているときは、予約の修正ができます。予約修正は［予約リスト］からのみ行えます。

G **［視聴］**
現在放送中の番組のみ選べます。

録画を停止するには

録画の停止は予約リストを使って行います。

1 見る(見る)を押す。

2 ホームを押す。

3 ↑↓で[予約リスト]を選び、決定を押す。

4 ↑↓で録画中の番組を選び、決定を押す。

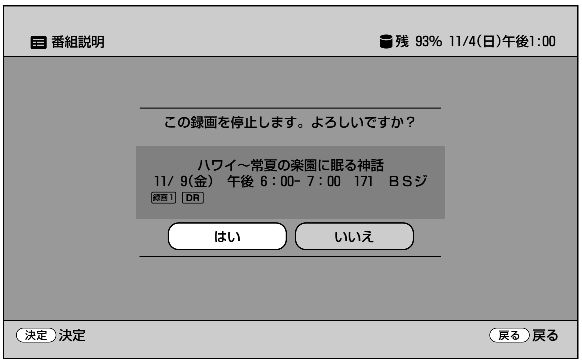


録画中の番組には●(赤)が表示されています。

5 [録画停止]を選び、決定を押す。



6 録画停止確認画面で[はい]を選び決定を押す。



録画が停止するまでに10秒ほどかかることがあります。

録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

二か国語放送(二重音声放送)を録画する

二か国語放送などの番組を録画することができます。

本機では、DRモードで録画したときのみ二か国語放送の両音声(主･副)で記録できます。

ちょっと一言

デジタル放送では、音声信号が複数ある番組があり、これらの音声信号を第1音声、第2音声と呼びます。第1音声信号に主+副音声が送られたり、第1音声(日本語)、第2音声(英語)などのように送られる場合があります。

番組表から番組を探して録画する

番組表から録画したい番組を選ぶだけで、録画予約を設定できます。
各放送のサービスごとに番組表が用意されています。視聴したい放送の番組表を選んでから番組表を使ってください。

1 予約する（予約する）を押す。

2 ↑↓←→で録画したい放送の種類を選び、決定を押す。

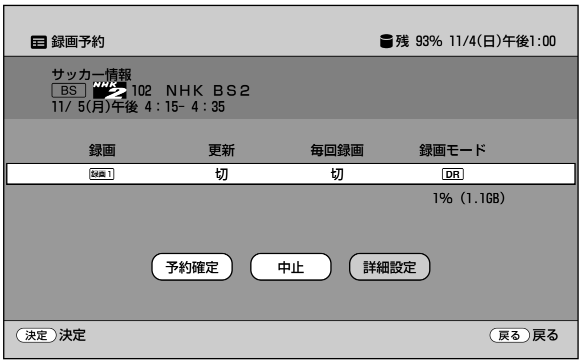


3 ↑↓←→で録画したい番組を選び、決定を押す。



4 ←→で［録画予約］を選び、決定を押す。

5 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。



6 ［予約確定］を選び、決定を押す。

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。
予約した番組は、番組表に◷が表示されます。

ご注意

番組表の番組表示は、8日先まで表示します。

番組表の見かた



A **マーク**
▌:予約時間帯
●（赤）:録画中
◷／◷:録画予約
¥:有料番組

B **放送名**

C **放送日時**

D **チャンネル番号・ロゴ**

E **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

F **放送時間・番組名**
放送予定の番組を表示します。

録画予約設定でできること

項目	設定
録画1・2	［録画1］か［録画2］どちらかを選びます。［録画1］と［録画2］ではできることが異なります（14ページ）。
更新	毎回録画を設定したときに［入］に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します。
毎回録画	毎日放送される番組などを毎回録画します（毎日、月-土など）。毎回録画は設定した日の番組から実行されます。
モード	録画モードを変更します。［録画］で［録画2］を選ぶと録画モードは［DR］に設定されます。
詳細設定	記録する信号を選択します。録画モードがDR以外のときに設定します。

録画を停止するには

予約リストから録画を停止します。詳しくは「録画を停止するには」(15ページ)をご覧ください。

番組表をはじめて使うときのご注意

本機の接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表データを受信するまでは番組表に番組は表示されません。番組表データの受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信までに1日程度かかることもあります。

日時指定で番組を探して録画する

カレンダーから録画したい日付、時間、チャンネルを選び、録画予約できます。

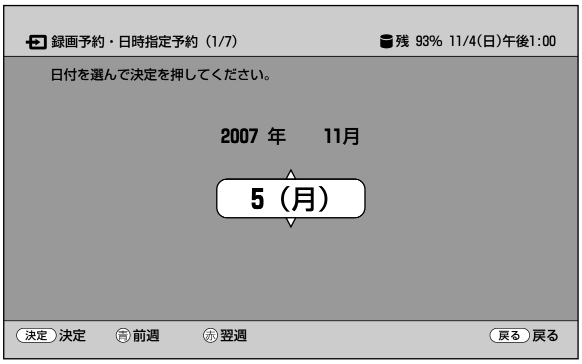
1 予約する（予約する）を押す。

2 ↑↓←→で［日時指定予約］を選び、決定を押す。

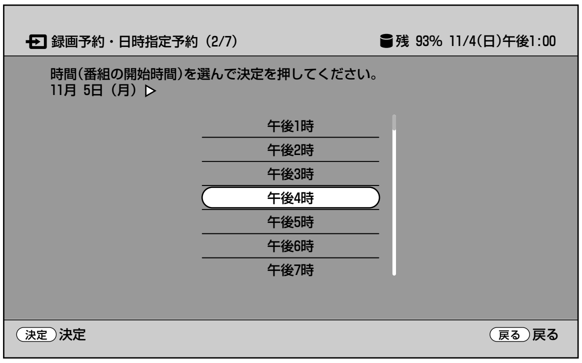


3 ↑↓で録画したい日付を選び、決定を押す。

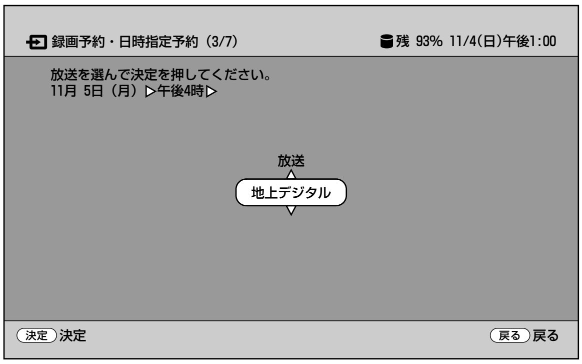
30日先の日付まで選ぶことができます。



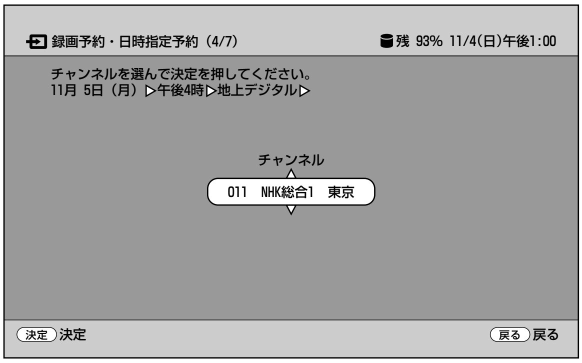
4 ↑↓で時間（番組の開始時間）を選び、決定押す。



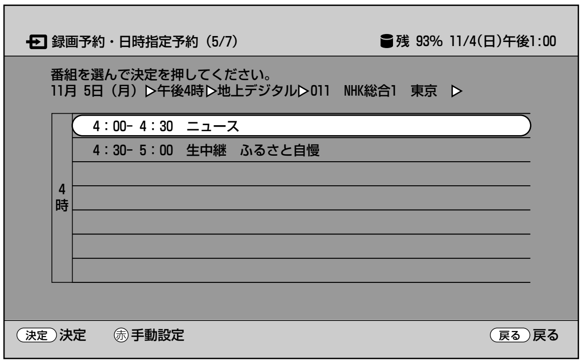
5 ↑↓で放送の種類を選び、決定を押す。



6 ↑↓でチャンネルを選び、決定を押す。



7 ↑↓で録画したい番組を選び、決定を押す。



8 ←→で［録画予約］を選び、決定を押す。

9 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。

10［予約確定］を選び、決定を押す。

9日以上先の番組は番組表が表示されないので、手動で設定します。

録画予約画面で、←→で各設定項目を選び、↑↓で設定します。

日時を手動設定して録画予約するには

1 手順7で赤(赤)を押す。

2 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。

3 [予約確定]を選び、決定を押す。

録画を停止するには

予約リストから録画を停止します。詳しくは「録画を停止するには」(15ページ)をご覧ください。

録画する

2番組同時に録画する（2番組同時録画）

地上デジタルとBSデジタルまたはCSデジタルを同時に録画できます。
地上デジタルと地上デジタル、BSデジタルまたはCSデジタルとBSデジタルまたはCSデジタルは同時録画できません。
デジタル放送同士で録画したい番組の放送時間が重なっても、それぞれの番組を[録画1]と[録画2]へ同時に録画できます。

録画方法

- おすすめ番組表から番組を選んで録画する（13ページ）
- 番組表から番組を探して録画する（16ページ）
- 日時指定で番組を探して録画する（18ページ）

2番組同時録画の組み合わせは下記の表をご覧ください。

2番組同時録画の組み合わせ

[録画1]で地上デジタル放送を選んでいるとき

録画1		録画2	
放送の種類*1	選べる録画モード	放送の種類*1	選べる録画モード
地上デジタル	DR	BSデジタル・CSデジタル	DR
	DRS		
	DRL		
	LP		

[録画1]でBS/CSデジタル放送を選んでいるとき

録画1		録画2	
放送の種類*1	選べる録画モード	放送の種類*1	選べる録画モード
BSデジタル・CSデジタル*2	DR	地上デジタル	DR
	DRS		
	DRL		
	LP		

*1　地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルのいずれか１つが可能
*2　[録画1]は録画予約のみ（番組視聴中のオプションメニューからの録画を含む）

2番組同時の予約録画について

- 予約の際、一方の番組を[録画1]に、もう一方の番組を[録画2]に設定してください。
- [録画2]への予約録画の場合、DRモードのみ選べます。

[録画1]と[録画2]の違いについて

[録画1]で録画したときは、[録画2]で録画したときと異なり、特徴点検出機能が働き、自動的にチャプターが挿入されます。再生時にこの機能を使いたい場合は、必ず[録画1]で録画してください。

ちょっと一言

「見て録」は[録画2]に録画されます。
[録画2]で録画しているときは、「見て録」や「リプレイ」が利用できません。

予約を確認する・変更する・取り消す（予約リスト）

予約リストは録画予約されている番組を一覧表示します。予約リストから、予約の変更や消去、重複確認、優先順の変更ができます。

1 予約する（予約する）を押す。

2 ホームを押す。

3 ↑↓で［予約リスト］を選び、決定を押す。

予約リストが表示されます。

予約リストの見かた



A **マーク**
●（赤）:録画中
全て:録画可（全て）
一部:録画可（一部）
NG:録画不可
無効:無効予約
録画1／録画2:録画種類

B **予約番組名**

C **予約日時**

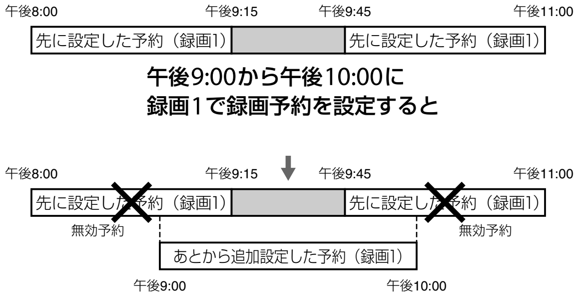
D **放送局ロゴマーク**

E **録画モード**

F **更新マーク**

無効予約になる条件について

同じ時間帯、同じ録画先に異なる放送の録画予約をすると、先に予約していた録画予約は無効となり、録画が実行されません。（異なる放送は、地上デジタルとBSデジタル、地上デジタルとCSデジタルのことを指します。）



あとから追加設定した予約の時間と、先に設定していた予約の時間が重なるため、先に設定した予約が無効になる

予約を変更する

予約リストで番組を選んで、決定を押します。番組説明画面または日時指定予約画面で、［予約修正］を選びます。変更したい項目を設定し直してから、［予約確定］を選び、決定を押します。

ご注意

録画中の録画延長はできません。

前回録画した番組を消去して録画する（更新録画）

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、前回録画した番組を消去した上で、新しい回を録画します。
［更新録画］を設定する場合は、［録画予約］で［毎回録画］が設定されているタイトルが対象になります（14ページ）。

1 予約リストで番組を選び、決定を押す。

録画予約画面が表示されます。

2 ←→で［更新］を選んで、↑↓で［入］に設定し、決定を押す。

3 ［予約確定］を選んで、決定を押す。

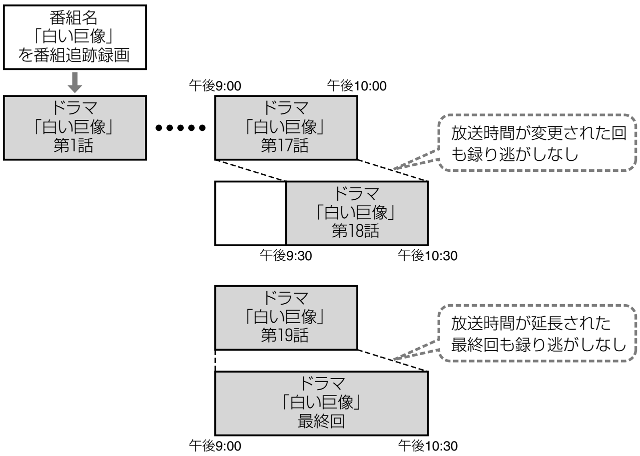
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

録画する

次のページにつづく⇨

放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する（番組追跡録画）

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、最終回だけ放送時間が違う場合に録り逃がすことがあります。番組追跡録画を設定すると、放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃がさず録画できます。また、1回だけの予約の場合でも、録画の前に番組表データの更新があった場合、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。



この機能はお買い上げ時は、[入]に設定されています。

この機能を使わないようにするには、「レコーダー設定」（35ページ）で、[録画設定]の[番組追跡録画]を、[切]に設定します。

予約を取り消す

予約リストで番組を選んで、決定を押します。番組説明画面で、[予約消去]を選び、決定を押します。

録画を停止する

予約リストで録画中の番組を選んで、決定を押します。番組説明画面で、[録画停止]を選び、決定を押します。

予約の重複を確認する

番組説明画面から「予約重複確認」を選んで確認します。

予約の優先順位を変更する

本機では、録画の優先順位にしたがって録画します。優先順位は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。

予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということが起こります。

重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて番組を最優先させてください。

優先順位を変更するには

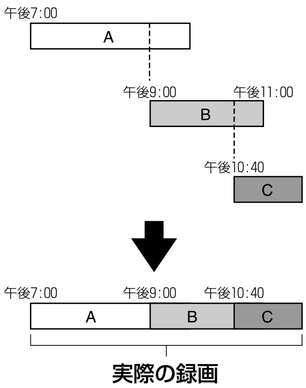
予約リストで番組を選んで、緑（緑）を押します。優先変更画面で[はい]を選び、決定を押します。

無効の予約を有効にする

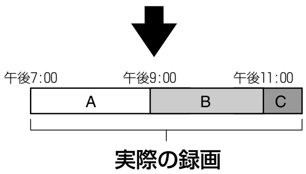
予約リストで[無効]と表示されている番組を選んで、決定を押します。番組説明画面で、[予約有効化]を選び、決定を押します。

同じ放送の種類で予約が重なっているときは

新たに登録された予約と重複し、一部またはすべてが録画されない番組には、「一部」または「NG」が付きます。
重複予約を確定した場合、後から設定した予約が優先されます。
例：番組[A]、[B]、[C]の順に予約した場合（番組[C]の優先順位が一番高い）



番組[B]の優先順位を番組[C]よりも高くすると、番組[B]は設定した録画終了時間まで録画されます。



予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは

前の予約の最後部は録画されません。

ちょっと一言

- 録画中に予約の優先順位を変えることもできます。
- 重複していない予約に対しても優先変更はできます。

異なる放送の種類で予約が重なっているときは

録画されない番組に「無効」が付きます。予約修正で録画先を変更し予約有効化を行ってください。

録画した番組を再生する



1 見る（見る）を押す。

2 ↑↓で再生したい番組を選び、決定を押す。

再生をやめるには、決定を押して停止します。
見る（見る）を押すと、録画番組リストに戻ります。

録画番組リスト上でオプションボタンを押してできること

HDD情報	HDDの情報を表示します。
選択消去	映像を選択して消去します。
予約リスト	予約リスト画面を表示します。
消去	映像を消去します。
番組情報	映像詳細の表示をします。

再生中にオプションボタンを押してできること

HDD情報	HDDの情報を表示します。
頭だし	録画した番組を始めから再生します。
ゆっくり再生	録画した番組をゆっくり再生します。
再生停止	再生を停止します。
映像切換	アングルなど切り換えが可能な映像の場合に使用できます。
番組情報	番組詳細の表示をします。

録画した映像にランクを付ける（スター設定）

録画した映像に、スターボタンを付けて、ランクの設定ができます。スター設定をしたジャンルの番組は、自動的に検索しておすすめ番組表に表示されます。

1 見る（見る）を押す。

2 ↑↓でスター設定を行いたい映像を選び、緑（緑）を押す。

3 ←→または（緑）でランクマークを選び、決定を押す。

なし　：ランクマーク（★）をゼロにします。
★　　：ランクマーク（★）を1つにします。
★★　：ランクマーク（★）を2つにします。
★★★：ランクマーク（★）を3つにします。



設定したランクマークは録画リストの右端に表示されます。
5秒間操作しないと、現在選択されているランクでスター設定されます。

ご注意

録画予約で設定した番組を録画しているときは、番組のサムネイルが表示されないことがあります。

音声や字幕を切り換えるには

音声切換（音声切換）や字幕（字幕）を押すたびに、音声信号や字幕の言語が切り換わります。切り換えた信号や字幕表示の内容が画面に表示されます。

再生のいろいろな操作

押すボタン	できること
⏮ ⏭（前／次）	前や次のタイトル／チャプター／トラックの先頭に進みます。 1つ前のトラックの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。 前や次のタイトルの先頭に進めません。
◀◀ ▶▶ （早戻し／早送り）	• 再生中に押すと4段階で早送り再生（▶▶1（2倍）、▶▶2（10倍）、▶▶3（30倍）、▶▶4（120倍）または早戻し再生（◀◀1（2倍）、◀◀2（10倍）、◀◀3（30倍）、◀◀4（120倍））します。ボタンを押し続けると、離すまで選んだ速さで再生します。 また←→でも同様の操作ができます。 • 一時停止中に▶▶を1秒以上押すと、スロー再生します。
■（停止） ❚❚（一時停止）	停止や一時停止します。再生中に決定を押しても停止できます。

録画した番組をゆっくり再生する

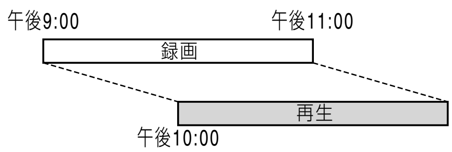
録画した番組を再生中に（オプション）を押し、［ゆっくり再生］を選ぶとゆっくり再生できます。

録画中の番組を最初から見る（追いかけ再生）

録画を続けながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を再生します。

1 見る（見る）を押す。

2 ↑↓で再生したい番組を選び、決定を押す。



次のページにつづく⇨

録画しながら他の番組を再生する（同時録画再生）

番組を録画中に、録画した他の番組を再生できます。再生中に録画予約で設定した録画が始まっても再生を続けることができます。

録画した番組を消去する



1 見る（見る）を押す。

2 ↑↓で録画した番組を選び、（オプション）を押す。

3 ↑↓で[消去]を選び、決定を押す。



確認画面で[はい]を選び、決定を押します。
消去によって増えるハードディスクの残量は、番組情報を目安にしてください。

ご注意

録画中の番組は消去できません。

複数の番組を選んで消去するには

1 録画番組リストで（オプション）を押す

2 ↑↓で[選択消去]を選び、決定を押す。

3 消去したい番組を複数選び、決定を押す

選んだ番組にはチェックマークが付きます。

4 [確定]を選び、決定を押す。

5 確認画面で[はい]を選び、決定を押す。

誤って消さないようにする

誤って録画した番組を消去しないよう、番組ごとにプロテクト(保護)の設定をします。

1 見る(見る)を押す。

2 ↑↓でプロテクトしたい番組を選び、黄を押す。

番組が保護され、🔒が表示されます。

プロテクトを解除するには

プロテクト設定した番組を選び、黄を押します。
番組から🔒が消えます。

テレビ放送を見る

1 **予約する（予約する）を押す。**

2 **↑↓←→で放送の種類を選び、決定を押す。**

3 **↑↓で視聴したい番組を選び、決定を押す。**

4 **←→で[視聴]を選び、決定を押す。**



ご注意

- 録画中は本機でテレビ番組を見ることができません。
- 本機では、デジタルのラジオ放送やデータ放送を視聴することができません。
- 本機の接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表データを受信するまでは番組表に番組は表示されません。番組表データの受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信までに1日程度かかることもあります。

音声や字幕を切り換える

音声切換（音声切換）や字幕（字幕）を押す。

押すたびに音声信号や字幕の言語が切り換わります。
切り換えた信号や字幕表示の内容が画面に表示されます。

ちょっと一言

- チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。
- 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

視聴年齢制限つき番組を見る

「レコーダー設定」の[BS/CSデジタル視聴年齢制限]で視聴年齢制限つき番組を見るための暗証番号を設定した場合（34ページ）、設定した視聴年齢制限に該当する番組を見たり、録画しようとすると、「暗証番号入力画面」または「視聴年齢制限警告画面」が表示されます。番組を見たり、録画したりするには、暗証番号を入力して視聴年齢制限を解除します。

1 **「テレビ放送を見る」の手順に従って、番組を選ぶ。**

視聴年齢制限番組が始まると、暗証番号入力画面が表示されます。

2 **↑↓←→で4桁の暗証番号を入力する。**

↑↓← →を使って入力すると、画面上に＊が表示され、カーソルが右に移動します。次の番号を入力します。

3 **↑↓←→で確定を選び、決定を押す。**

暗証番号を確認するメッセージが表示されます。

4 **番組を視聴したり、録画や予約の準備を行う。**

ちょっと一言

録画後は暗証番号を入力しなくても視聴できます。

視聴年齢制限つき番組を録画予約するには

番組説明画面で[録画予約]を選択して決定を押すと、暗証番号入力画面が表示されます。
↑↓← →で暗証番号を入力し、[確定]を選び決定を押してください。

BRAVIAのリモコンで本機を操作する

下記ソニー製テレビ（BRAVIA）に付属のリモコンを使うと、見て録やリプレイなどの機能が利用できます。
設定方法については、取扱説明書＜準備編＞の「［手順12］リモコンを利用するための設定をする」をご覧ください。

KDL-70X7000/KDL-52X5000/KDL-46X5000/KDL-40X5000/
KDL-52X5050/KDL-46X5050/KDL-40X5050/KDL-52V5000/
KDL-46V5000/KDL-40V5000/KDL-52W5000/KDL-46W5000/
KDL-40W5000付属のマルチリモコン



KDL-46V3000/
KDL-40V3000付属のリモコン



今見ている番組を録画する（見て録）

1 BRAVIAのリモコンの「見て録」を押す。

録画を開始します。
「見て録」は2時間後に自動的に停止します。
「見て録」は［録画2］のみで録画されます。

録画を停止するには

BRAVIAリモコンの■（見て録停止）を押します。

- 次の場合、「見て録」ボタンを押しても録画は実行されません。
  - 本機の電源が入っていない場合
  - 2画面を表示中
  - リプレイ中
  - 視聴中のチャンネルがアナログ放送の場合
  - ［録画2］で録画中
  - テレビの入力が他の外部入力になっている場合
  - 録画した映像を再生している場合
  - 本機でテレビ番組を視聴している場合
  - 本機のメニュー画面を表示している場合
  - 録画した映像が300件あるときに、自動消去の設定が［切］に設定されていたり、［入］で設定されていて録画した映像がすべてプロテクトされている場合
  - ハードディスクの空き容量が足りない場合

ご注意

- 視聴中のデジタル放送の番組を録画ボタンを押して録画する場合、DRモード以外の録画モードを選ぶことはできません。
- ［録画2］の録画予約が実行されると、「見て録」は停止されます。
- 録画番組は複数に分かれて録画されることがあります。

今見ている番組の放送を一時的に停止する（リプレイ）

BRAVIAのリモコンの「リプレイ」ボタンを押すだけで、今見ている番組の放送を一時的に停止して続きから再生できます。
「リプレイ」は［録画2］のみで録画されます。

1 **BRAVIAのリモコンの「リプレイ」を押す。**

数秒前*の場面に戻って一時停止します。

* 放送の内容によって5 ～ 15秒前になります。

2 **BRAVIAのリモコンの▶（再生）または［決定］を押す。**

手順1で停止している場面の続きから再生します。

- 次の場合、「リプレイ」ボタンを押しても実行されません。
  - 本機で視聴中
  - 2画面を表示中
  - 視聴中のチャンネルがアナログ放送の場合
  - ［録画2］で録画中
  - 録画予約が約2分以内にある場合
  - 今見ている放送を録画している場合
  - テレビの入力が他の外部入力になっている場合
  - 本機が番組表のデータを取得している場合
  - 本機のメニュー画面を表示している場合
  - 録画した映像を再生している場合
  - ハードディスクの空き容量が足りない場合

ご注意

- リプレイの最大録画時間は2時間です。
  ただし、番組によっては放送の切り換わりでリプレイが停止します。
- 「リプレイ」ボタンを押してから2時間経過すると、録画番組リストを表示します。
- ［録画2］の録画予約が実行されると、「リプレイ」は停止されます。
- リプレイ中にリプレイはできません。

本機の設定を変更する

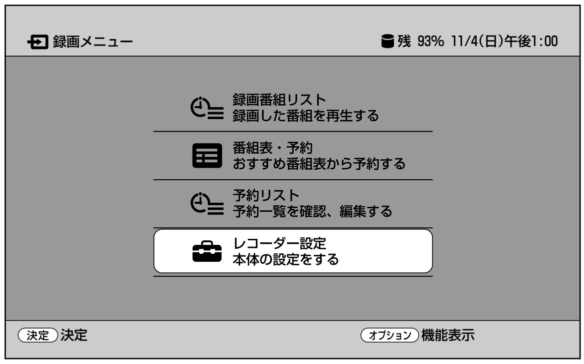


設定画面でチャンネルなどのさまざまな設定ができます。

1 見る（見る）を押す。

2 ホームを押す。

3 ↑↓で[レコーダー設定]を選び、決定を押す。



4 ↑↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

お知らせ

項目	項目説明
放送局からのメール	放送局からお客様へのお知らせ(メール)を見ることができます。
本機からのメール	予約や録画結果、ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。

アンテナ設定

設定したいこと	項目	項目説明
地上デジタル チャンネルスキャン	地上デジタル放送の受信設定を一連の流れで設定できます。	
地上デジタル アンテナレベル ちょっと一言 アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は受信C/Nの換算値を表します。	伝送チャンネル	アンテナレベルを確認したい伝送チャンネルを選択します。
	現在受信中のチャンネル	受信中のチャンネル番号を表示します。
	現在	受信中のチャンネルの現在のアンテナレベル値を表示します。
	ピーク	受信中のチャンネルの過去に取得できた最大のアンテナレベル値を表示します。
	受信レベル表示バー	受信中のチャンネルのアンテナレベルをバーで表示します。赤、黄、緑の順に受信レベルが高くなります。
BS/CSデジタル アンテナ電源	自動	本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断します。本機の電源が切れているときは供給しません。
	入	本機の電源がはいっているときはつねに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。[自動]の設定でお使いのとき、BSデジタルが映ったり消えたりするときは[入]を選びます。
	切り	電源を供給しません。マンションなどの共同受信システムのときは[切り]を選びます。
BS/CSアンテナ レベル	放送	アンテナレベルを確認したい放送(BSまたはCS)を選択します。
	3桁チャンネル番号	アンテナレベルを確認したいチャンネルを選択します。
	現在	受信中のチャンネルの現在のアンテナレベル値を表示します。
	ピーク	受信中のチャンネルの過去に取得できた最大のアンテナレベル値を表示します。
	受信レベル表示バー	受信中のチャンネルのアンテナレベルをバーで表示します。赤、黄、緑の順に受信レベルが高くなります。
BS/CSデジタル視聴 年齢制限	視聴年齢付き番組の年齢制限を設定します。	

さまざまな設定をする

録画設定

設定したいこと	項目	項目説明
チャプター(録画1)	特徴点検出	[録画1]で録画したときに、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。
	6分毎	[録画1]で録画したときに、約6分間隔でチャプターを区切ります。
	切	自動でチャプターを区切りません。
チャプター(録画2)	6分毎	[6分毎]を選ぶと、[録画2]で録画したときに、約6分間隔でチャプターを区切ります。
	切	
番組追跡録画	入	[入]を選ぶと、録画時の番組追跡録画をします。
	切	
自動削除	入	[入]を選ぶと、HDD空き容量が少ない場合に、自動的に古い録画から削除します。
	切	

本体設定

設定したいこと	項目	項目説明
文字スーパー	第一言語	字幕スーパー放送が行われているときに、第一言語の字幕スーパーを表示します。
	第二言語	字幕スーパー放送が行われているときに、第二言語の字幕スーパーを表示します。
	切	字幕スーパーを表示しません。
HDMI音声出力	自動	HDMI音声出力にAAC対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。デジタル放送の音声はAAC音声でそのまま出力されます。
	PCM	HDMI音声出力にAAC対応していないAVアンプやホームシアター機器などをつないでいるときに選びます。
ソフトウェアアップデート	自動	［自動］を選ぶと、本機内蔵のソフトウェアを最新の状態に保つために、デジタル放送から自動でダウンロードします。
	切	
B-CASカード情報	B-CASカードや本機の情報を表示します。	
本機の情報	本機のソフトウェアバージョンを確認できます。	
時刻	時刻の設定を行います。	
リモコンモード	HDD1	**ご注意** リモコンモードを変更すると、リモコンもそのモードに変更する必要があります。「リモコンモードを変更する」（38ページ）の手順に従って、リモコンモードを設定してください。
	HDD2	
	HDD3	
HDD初期化	HDDを初期化します。初期化すると録画した映像がすべて削除され、元に戻すことはできません。	

その他

設定したいこと	項目	項目説明
初期化	設定した各項目の内容を初期化します。	
視聴学習 （おすすめ番組表）	入 切	［入］を選ぶと、あなたの視聴を自動で学習して、「おすすめ番組」を案内します。

かんたん設定

設定したいこと	項目	項目説明
かんたん設定をはじめる	地上･BS･110度CSデジタル放送の受信設定を一連の流れでできます。	

リモコンモードを変更する

1 リモコンのふたの中の HDDレコーダー を押しながら、画面表示 を押す。

HDDレコーダー が点滅します。

2 登録したいリモコンモードに対応した数字ボタン（3桁）を押す。

HDDレコーダー が点灯します。

0は⑩です。「203」を入力するときは、リモコンの②、⑩、③を順番に押してください。

3 決定 を押す。

登録が実行されます。

正しく登録されたときは、HDDレコーダー が2回点滅して終了します。

登録されなかったときは、5回点滅します。手順1からもう一度やり直してください。

対応リモコンモード

項目	設定
HDD1	201
HDD2	202
HDD3	203*

* お買い上げ時の設定

ご注意

リモコンの電池を取り出したり、交換したりすると、設定したリモコンモードが消えることがあります。もう一度設定しなおしてください。

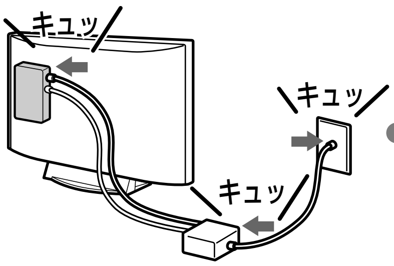
ちょっと一言

次のボタンを押すと、テレビ操作に切り換わります。
数字ボタン、チャンネル+／－ボタン、アプリキャストボタン、地上アナログボタン、地上デジタルボタン、BSボタン、CSボタン、入力切換ボタン

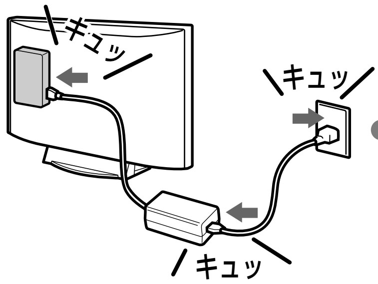
故障かな？と思ったら

まず確認してください

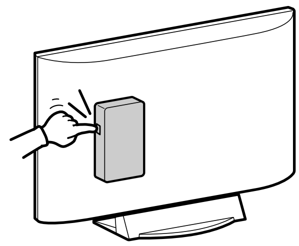
アンテナ線を
しっかりつなぐ。



ACパワーアダプターをしっかり
つなぐ。

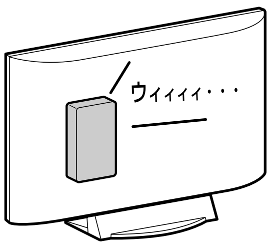


本体の電源スイッチを
入れる。



こんな場合は故障ではありません

電源を切っているのに
ファンの音がする。



電源が「切」でも、番組表データの取得時
や予約録画実行時などの場合、本機の
ファンが動作します。

困ったときは

次のページにつづく⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

画像

症状	対処のしかた	参照ページ
画像が出ない、画像が乱れる。	• 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。 • 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 • 接続コードが断線していないか確認してください。 • HDDの特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	

番組表

症状	対処のしかた	参照ページ
番組表が表示されない。 番組表に表示されない放送局がある。	• 接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表データを受信するまでは表示されません。受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信までに1日程度かかることもあります。 • 日付や時刻を正しく設定してください。 • 番組表データを送信している放送局の受信状態が悪い場合、番組表は表示できません。 • 正しい地域番号が設定されているか確認してください。 • お住まいの地域によっては、番組表データを受信できない場合があります。 • リモコンの地上デジタル／ BSデジタル／ＣＳデジタルボタンを押してください。 • おすすめ番組表が［切］になっていると、おすすめ番組表に番組が表示されなくなることがあります。 • 番組表データに含まれない放送局は表示されません。 • 受信状態が悪いと、一部の放送局を受信できない場合があります。受信できない放送局の番組表は表示されません。 • 受信状況をよくしたあとに地上デジタルチャンネルスキャンを再度行ってください。	 36 37 37 34
番組表が更新されない。	• 更新時の受信状態が悪いと、最新の番組表データを受信できない場合があります。 • 番組表データを送信している放送局が変わっていないか確認してください。	
番組表に表示されない番組がある。	• 受信状態が悪いと、一部の番組表データを受信できない場合があります。 • 時刻別番組表には、短い番組（5分間の番組など）は表示されません。	
間違った放送局名が表示される。	• 正しい地域番号が設定されているか確認してください。 • 引越して番組表データを受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがあります。	37
番組表に表示される番組が少ない。	• お買い上げ時、または長時間本体の電源コードを抜いた状態のあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。しばらくすると表示されます。	

録画・予約

症状	対処のしかた	参照ページ
録画中、テレビのチャンネルを変えられない。	• テレビ本体のチャンネルを見たいチャンネルに切り換えてください。	
録画中に■（録画停止）を押してもすぐに録画が止まらない。	• 録画が止まる前にHDDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によっては、録画が停止するまでに通常よりも時間がかかる場合があります。	

困ったときは

症状	対処のしかた	参照ページ
予約したのに録画されていない。	● 自己メールを確認してください。 ● 録画中に停電がありませんでしたか？ ● 1時間以上の停電があり、時計が止まっていなかったか確認してください。 ● コピー制御信号が含まれている映像を録画、または録画予約していないか確認してください。 ● 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていなかったか確認してください。 ● HDDの残量が足りているか確認してください。 ● 録画した映像の数が上限(300個)に達していると録画できません。 ● 視聴年齢制限を超えた番組か確認してください。 ● 有料番組か確認してください。 ● B-CASカードが入っているか確認してください。	21 34
予約した内容が途中で切れている。	● 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていなかったか確認してください。 ● 番組の中断がなかったか確認してください。 ● コピー制御信号が含まれている映像が途中から始まらなかったか確認してください。 ● HDDの残量が足りているか確認してください。 ● 録画中に停電がありませんでしたか？ ● 録画終了時刻から開始する別の録画予約がなかったか確認してください。 ● 受信状態が悪かった場合、途切れます。	21
以前録画した内容がなくなっている。	● 更新録画が設定されているか確認してください。 ● [自動削除]が[入]に設定されていると、HDDの空き容量が少ない場合に、録画された映像が自動的に消去されます。	21 35

再生

症状	対処のしかた	参照ページ
最初から始まらない。	● つづき再生になっていないか確認してください。映像選択時に、オプションから[頭出し再生]を選んでください。	24
追いかけ再生できない。	● アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けていると、追いかけ再生できないことがあります。 ● 録画中の番組の途中からスクランブル解除できない信号が入った場合、追いかけ再生できません。	

音声

症状	対処のしかた	参照ページ
音が出ない。	● 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 ● 接続コードが断線していないか確認してください。 ● 一時停止、スロー再生になっていないか確認してください。 ● 早送りまたは早戻しになっていないか確認してください。	25

次のページにつづく⇨

故障かな？と思ったら(つづき)

リモコン

症状	対処のしかた	参照ページ
リモコンが働かない。	• 乾電池が消耗していないか確認してください。 • リモコンを本体に向けて操作してくだい。 • リモコンを本体から遠いところで操作すると働かない場合があります。 • リモコンモードが正しく設定されているか確認してください。 • 電源を入れなおしてください。	準備編
ソニー製テレビに付属のマルチリモコンで、本機を操作できない。	• 近くに電子レンジあるときはマルチリモコンで操作できないことがあります。 • 本機をマルチリモコンに登録してください。 • マルチリモコンの「録画機器」には、1台の機器のみ登録できます。	準備編

その他

症状	対処のしかた	参照ページ
電源が「切」のときに本機のファンの音がする。	• 電源「切」時に番組表データを取得する際、本機のファンが動作することがあります。 • 本機に挿入したB-CASカードが契約切れで本機が確認の通信動作を行っている場合、ファンは動作し続けます。 • ソフトウェアアップデート中は本機が待機状態になるため、ファンが回り続けます。	
正常に動作しない。	• 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切って電源コードを抜いてください。しばらく置いてから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。	
チャンネルを切り換えたときに画像出るまでに時間がかかる。	• 番組表データの受信後、画像が出るまでに時間がかかることがあります。	

エラーメッセージ

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
衛星アンテナがショートしたため、BS/CSデジタルアンテナ電源の設定を「切り」にしました。取扱説明書をご覧ください。	E207	(1) テレビの電源を切る。 (2) 本機前面の電源ボタンを10秒以上押し続ける。 電源ボタンを押している途中、電源ボタンのランプが緑色に点灯することがありますが、電源ボタンを押し続けてください。 (3) 電源ランプが赤く点灯し、電源が切れていることを確認する。 (4) 衛星用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認する。 (5) 本機およびテレビの電源を入れる。 (6) 「かんたん設定」の途中でメッセージが表示された場合は、「かんたん設定」をやり直す。 (7) [BS/CSデジタルアンテナ電源]を[自動]または[入]に設定する。 マンションなどの共同受信システムの場合は[切り]に設定してください。それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで主電源を切り、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。	34
B-CASカードを入れてください。	E100	• B-CASカードが挿入されていません。B-CASカードを正しく入れてください。	

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。	E102	• B-CASカード以外は使えません。付属のB-CASカードをお使いください。 • B-CASカードの入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度しっかり入れ直してください。 • B-CASカードが破損している場合や、入れ直してもメッセージが表示されるときは、「デジタル放送お問い合わせ先一覧」をご覧になりお問い合わせください。	
該当するチャンネルはありません。	E204	• 放送チャンネルではないため、視聴できません。 別のチャンネルを選局してください。	
受信できません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。大雨·大雪が影響している場合もあります。	E202	• 悪天候による受信障害やアンテナの設定、調整が正しくできていない場合があります。また放送されていないチャンネルを選局している場合もあります。	
このチャンネルは現在休止中です。	E203	• 放送を休止しているチャンネルを選局しています。 別のチャンネルを選局してください。	
本機では、データを表示できません。	E401	• データ放送を正しく受信できません。 別のチャンネルを選局してください。	
デバイスエラー レコーダー X	0c	• B-CASカードが挿入されていません。 B-CASカードを正しく入れてください。	
デバイスエラー レコーダー X	0d	• コピープロテクションにより録画できません。	
デバイスエラー レコーダー X	17	• 視聴年齢制限により録画できません。	34

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

裏表紙にあるソニーの相談窓口へお問い合わせください。

BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）にお問い合わせください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルハイビジョンチューナー内蔵HDDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名： BRX-A250

故障の状態： できるだけ詳しく

購入年月日：

本機の型名、シリアルナンバー、および定格は本体底面に記載されています。

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This Recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

その他

主な仕様

	型名	BRX-A250
システム	形式	デジタルハイビジョンチューナー内蔵HDDレコーダー
	受信チャンネル	地上デジタルチューナー：UHF、CATV BS・110度CSデジタルチューナー：1022 ～ 2072MHz
	映像圧縮方式	MPEG-2
	音声圧縮方式	MPEG-2 AAC
入・出力端子	HDMI出力	19ピン標準コネクタ
	サービス専用端子	USBタイプAコネクタ（サービス専用）
	アンテナ入出力	地上デジタル/UHF：75 Ω F型コネクター BS/110度CS IF：75 Ω F型コネクター （コンバーター用電源出力DC15V 最大4W、芯線側＋、メニューにて自動／切を切り換え）
	リモコン入力	ミニジャック
電源部、その他	電源	AC100 V、50/60 Hz
	消費電力	30W
	許容動作温度	5 ℃～ 35 ℃
	許容動作湿度	25 %～ 80 %
	最大外形寸法	255 × 147 × 51.5 mm（幅×奥行き×高さ）最大突起含む
	HDD容量	250ギガバイト
	本体質量	約1.6kg
	付属品	別冊「取扱説明書＜準備編＞」をご覧ください。

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- 本機は日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ダウンロードの流れについて

本機を最新の状態に保つために、デジタル放送から最新情報をダウンロードして、ソフトウェアを更新します。

ダウンロードに必要な条件

- **デジタル放送のアンテナレベルが「20」以上であること**

ダウンロードの実行

数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機が自動的にその信号を受信します。ダウンロードの実行には20分前後かかります。

ソフトウェアの更新

ダウンロード終了後、リモコンで電源を切ると自動で内部ソフトウェアを更新します。ソフトウェアの更新は5分前後かかります。

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードをしないように設定すると、デジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のままお使いいただくよう、強くおすすめします。

ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの？」
電源コードが抜かれていたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったりしたときは、ダウンロードは行われません。

「ソフトウェア更新中に電源コードを抜くとどうなるの？」
ソフトウェア更新中は、電源コードを抜かないでください。ソフトウェア更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

使用上のご注意

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいので、ご注意ください。

電源を「切」にしているときのご注意

- 本機は番組表データなどを取得するため、電源が「切」の状態でも、一時的に本機の内部のシステムが起動することがあります。これにより、本機のハードディスクや冷却ファンが動作することがありますが、故障ではありません。
- 次のようなときは、電源が「切」の状態でもファンが回り続けることがあります。
  - 番組表の番組データ取得中
  - ソフトウェアアップデートを行っているとき
  - 録画中のとき
  - 録画した番組のサムネイルを生成しているとき

個人情報の記録について

- 本製品内のハードディスク、メモリーには各種機能の設定や、ご使用にあたってのお知らせ（メール）、視聴学習履歴が記録されます。
- 本製品を廃棄、譲渡などするときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
  「録画メニュー」の［レコーダー設定］から［その他］→［初期化］を選択し、［個人情報の初期化］をチェックして「実行」すると、以下の個人情報が消去されます。
  - お知らせ（メール）
  - 視聴学習履歴（おすすめ番組表）
  - 視聴年齢制限（レベル）と暗証番号

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内のハードディスクに記録できなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内のハードディスクの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、「電源プラグをコンセントから抜くときやACパワーアダプターを本機から取りはずすときは」をご覧ください。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

内蔵 ハードディスクの修理について

- 修理·点検の際、不具合症状の発生·改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製·保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやビデオデッキから近い所。(チューナーやビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナを使用しているときに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。)

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

配線／接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。

結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

電源プラグをコンセントから抜くときやACパワーアダプターを本機から取りはずすときは

電源プラグをコンセントから抜くときは、以下の手順で行ってください。

① テレビ側の「HDMIコントロール」の設定を「しない」に設定する。
または、テレビ側の「テレビ→HDMI機器電源連動」の設定を「しない」に設定する。
② 予約リスト内の予約をすべて削除する。
③ 本機に接続されているアンテナケーブルをすべてはずす。
④ 本機前面の電源ボタンを10秒以上押し続け、電源を切る。
本機の電源ランプが赤く点灯していることを確認してください。

ご注意

本機の電源ボタンを10秒以上押し続けて電源を切る方法は、緊急の場合の電源遮断処理です。一刻も早く電源を切る処理を行うため、予約した録画が実行されないことがあります。

本機の電源ボタンを10秒以上押し続けて電源を切ったときは、再度電源を「入」にするか、電源が「切」の状態で一度コンセントを抜き、再度挿しなおすことで、確実に予約録画が実行されます。

HDMIコントロール（機器制御）について

HDMIコントロール（機器制御）とは

HDMIコントロール（機器制御）は、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った機器間相互制御の機能です。ソニーのHDMIコントロール（機器制御）対応のテレビやハードディスク搭載ブルーレイディスクレコーダー*、AVアンプ*などをHDMIケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

＊ 本機からのHDMI出力信号は、テレビに入力して視聴する以外の用途には対応しておりません。

対応機器をつなぐ*

HDMIケーブルでつなぎます。接続にはHDMIロゴがついているものをお使いください。

＊ HDMIコントロール（機器制御）機能は、ソニーのHDMIコントロール（機器制御）対応機器間のみで可能です。

HDMIコントロール（機器制御）の設定をする

HDMIコントロール（機器制御）を使うには、テレビの設定が必要です。設定方法については、本機の取扱説明書＜準備編＞またはテレビの取扱説明書をご覧ください。

HDMIコントロール（機器制御）でできること

- テレビの電源を切ると本機の電源も連動して切れる。
- 本機のリモコンの「見る」「予約する」ボタンを押すと、テレビの電源も連動して入り、テレビの入力も自動的に切り換わる。
- 簡単な操作でAVアンプからの音声に切り換えられる。
- テレビのホームメニューでHDMIコントロール（機器制御）対応機器を選べば、選んだ機器の電源が自動で入る。

ご注意

- お買い上げ時や、新しいテレビと接続されたときには、テレビとの連携動作ができない状態となっている場合があります。その場合は、一度テレビの電源が入っている状態で、本機の電源ボタンを押すと、連携動作が働くようになります。
- HDMIコントロール（機器制御）非対応の機器をテレビの別のHDMI入力に接続しているときのご注意
  HDMIコントロール（機器制御）非対応の機器が接続されているテレビのHDMI入力に切り換えて映像を表示していると、本機が接続されているHDMI入力に自動的に切り換わることがあります。これは本機の正常動作によるもので、故障ではありません。テレビの入力切り換えを行ってください。

デジタル放送お問い合わせ先一覧

2007年12月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS・110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
WOWOW[*1]	0120-580807 受付 9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル[*2]	スター・チャンネル カスタマーセンター 0570-013-111 PHS、IP電話のお客様は 045-339-0399 受付 10:00 ～ 18:00 http://www.star-ch.co.jp/ なお、スター・チャンネルBSの加入申し込みは、下記のｅ２ ｂｙ スカパー！へお問い合わせください。

＊1 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（WOWOW プロモチャンネル：791ch）は無料放送です。

＊2 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル衛星サービス	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
ｅ２ ｂｙ スカパー！（CS1・CS2）	■ カスタマーセンター 「ｅ２ ｂｙ スカパー！カスタマーセンター」 0570-08-1212 PHS、IP電話のお客様は 045-276-7777 受付 10:00 ～ 20:00（年中無休） ■ ホームページ 「ｅ２ ｂｙ スカパー！ホームページ」 www.e2sptv.jp

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

機関	ホームページアドレス
（社）デジタル放送推進協会（Dpa）	http://www.dpa.or.jp

地デジの受信相談について

機関	お問い合わせ電話番号
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話：0570-07-0101 （平日 9:00 ～ 21:00、 土・日・祝日 9:00 ～ 18:00）

マルチリモコンについて

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業·科学·医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のソニーの相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のソニーの相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS1

この表示のある無線機器は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

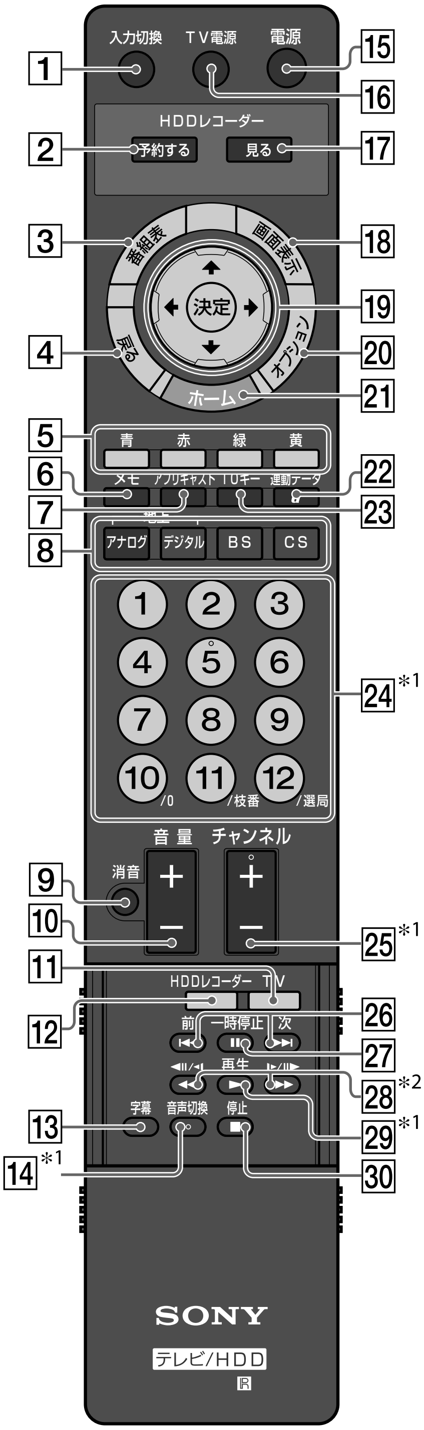
電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

各部の名前

リモコンのボタン



*1 の付いたボタン（チャンネル＋ボタン、音声切換ボタン、数字ボタンの「5」、再生ボタン）の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

*2 I▶（スロー再生）：一時停止中に▶▶を1秒以上押すと、スロー再生します。
◀II ／ ◀I ／ II▶（コマ戻し、スロー戻し、コマ送り）：本機はこれらの機能には対応していません。

次のページにつづく⇨

各部の名前（つづき）

1 **入力切換**

テレビの入力を切り換えます。

2 **予約する**

番組表が表示されます。

3 **番組表**

番組表を表示します。

4 **戻る**

1つ前の画面に戻ります。

5 **カラーボタン（青、赤、緑、黄）**

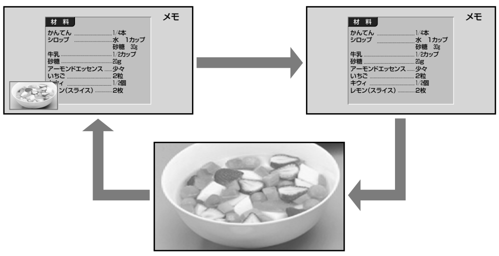
画面で行う操作に使用します。

6 **メモ**

静止させたい場面が映っているときに押すと、2画面表示になり、押すたびに下記のように切り換わります。

メモ画面（静止画）と
子画面（放送中の映像）

メモ画面（静止画）



放送中の映像

ご注意

- 番組によっては、メモ画面を表示したあとでメモボタンを押さなくても、自動で放送中の映像（動画）が閉じることがあります。
- ラジオ放送と独立データ放送およびPC入力のときはメモボタンは働きません。

7 **アプリキャスト**

放送中の番組やビデオなどを視聴中に、インターネット上のアプリを2画面で同時に楽しめます。

8 **テレビの放送切換用ボタン（地上アナログ、地上デジタル、BS、CS）**

放送の種類を切り換えます。

9 **消音**

テレビの音声を消音します。電源スタンバイ時に押すと、最小の音量で電源が入ります。音量＋ボタンを押すと、音声が出ます。

10 **音量＋／－**

テレビの音量を調節します。

11 **TV**

テレビ操作モードに切り換えます。

12 **HDDレコーダー**

HDDレコーダー操作モードに切り換えます。

13 **字幕**

字幕の入／切や言語を切り換えます。

ちょっと一言

- 字幕放送の取得には、時間がかかることがあります。
- 字幕ボタンを押すと、番組に字幕があるかどうかに関わらず、[第1言語]または[第2言語]、[切]に切り換わります。次に字幕のある番組が放送されたときに切り換えた字幕が表示されます。
- 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

14 **音声切換**

副音声や第2音声（デジタル放送のみ）があるときに切り換えます。

ちょっと一言

チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

15 **電源**

HDMIコントロール（機器制御）に対応していないテレビに接続しているときに本機の電源の入／切を行います。

16 **TV電源**

HDMIコントロール（機器制御）に対応しているテレビに接続し、HDMIコントロール（機器制御）の設定が[入]になっているとき

テレビと本機の電源の入／切を行います。テレビと本機の電源は連動します。

HDMIコントロール（機器制御）に対応していないテレビに接続しているとき

テレビの電源の入／切を行います。

17 **見る**

HDDレコーダーの録画リストが表示されます。

18 **画面表示**

チャンネルや番組情報を表示します。



19 **↑↓←→決定**

↑↓←→でホームメニューなどの項目を選んだり、カーソルの移動をします。
決定で選んだ項目を決定します。

20 **オプション**

そのときにできる便利なことを表示します。

その他

21 ホーム

ホームメニュー画面に切り換えます。

22 連動データd

連動データの画面に切り換えます。

23 10キー

テレビのチャンネルを切り換えたり、数字を入力します。

24 数字

テレビのチャンネルを切り換えたり、数字を入力します。

25 チャンネル＋／ー

テレビのチャンネルを順送りで切り換えます。

26 ⏮ ／ ⏭（前／次）

前／次のシーンにとばします。

27 ❚❚（一時停止）

映像を表示したまま停止します。

28 ◀◀ ／ ▶▶（早戻し／早送り）

早戻し／早送り再生します。押すたびに3段階で早さが変化します。

❚▶（スロー再生）：一時停止中に▶▶を1秒以上押すと、スロー再生します。

◀❚❚ ／ ◀❚ ／ ❚❚▶（コマ戻し、スロー戻し、コマ送り）：本機はこれらの機能には対応していません。

29 ▶（再生）

映像を再生します。

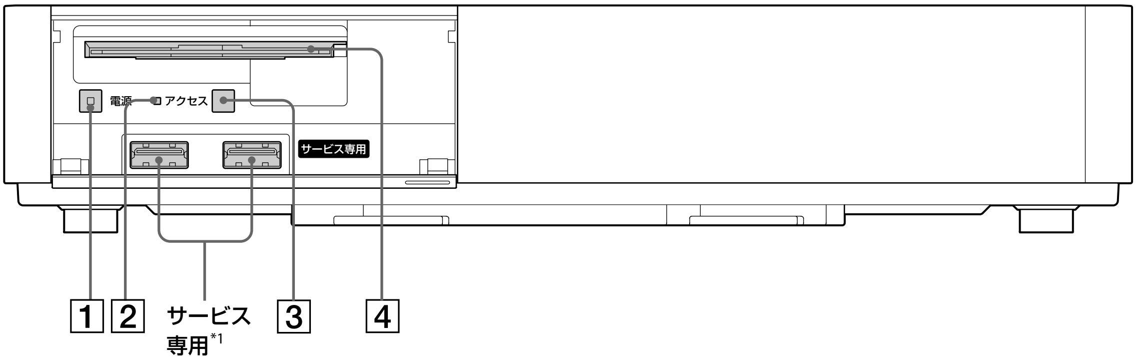
30 ■（停止）

再生中の映像を停止します。

次のページにつづく⇨

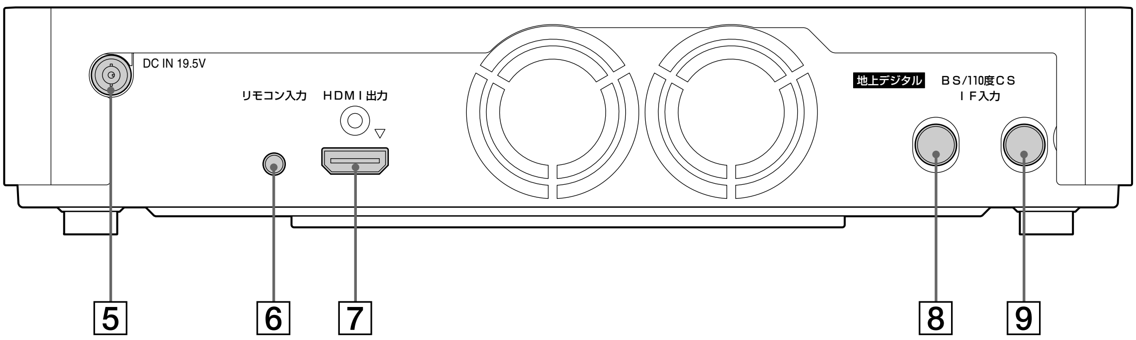
接続端子

本機前面



*1 サービス専用端子は使用しないでください。

本機後面



1 **電源スイッチ**

電源の入／切をします。

2 **アクセス**

HDDの書き込み、読み出し動作中に点滅します。

3 **リモコン受光部**

4 **B-CASカード挿入口**

付属のB-CASカードを挿入します。

5 **電源DC19.5V入力端子**

付属のACパワーアダプターをつなぎます。

6 **リモコン入力**

リモコン延長受光部をつなぎます。

7 **HDMI出力端子**

テレビのHDMI入力端子につなぎます。デジタル映像・音声信号を出力します。

対応している映像信号:1125i（1080i）

対応している音声信号:リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz、MPEG-2 AAC

ご注意

- DVI端子搭載機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルをご使用ください。
- HDMIおよびDVI端子搭載機器と接続できますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。

8 **地上デジタル入力端子**

9 **BS/110度CS IF入力端子**

衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。

ご注意

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは ホームページをご活用ください。	**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「200」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月〜金：9:00〜20:00 土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70％以上の再生紙を使用しています。

Printed in Japan

3214745060